

「サイクルトレインお出かけ企画」の巻



10月18日(日)、エコ交通研究会では、近江鉄道の「サイクルトレイン」を利用したメンバーの交流会を行いました。ふらふらと予想がつかない台風14号の接近のおかげで、当初の予定10月11日(日)より一週間遅れの実施となりました。

心地よい秋晴れの中、公共交通(JRと近江鉄道)を利用し、レンタサイクルで健康増進を図り、あわせて地域の資源循環の取り組みを見学するという欲張りな企画です。

当日は朝9時に彦根駅に集合。駅前のレンタサイクル「めぐりんこ」さんでクロスバイクを借り、近江鉄道の次の駅「ひこね芹川駅」まで移動して、そこから自転車とともに近江鉄道に乗って「愛知川駅」までサイクルトレインの旅。折りたたみ自転車

でなくても一緒に電車に乗れるというのは本当に便利です。「愛知川駅」で電車を降りてからは目的地の「あいとうマーガレットステーション」まで13kmのサイクリング。道中の道はなだらかでしたが、途中の長く続く上り坂では、さすがに電動アシスト自転車にしなかったことを後悔もしました。

「あいとうマーガレットステーション」に着き、みんなで昼食。のど越しの良い東近江市産の『八風(はっふう)そば』などをいただき、ほっこりしてから「あいとうエコプラザ菜の花館」へ。ここでは「NPO 法人愛のまちエコ倶楽部」さん(SGN 会員)にご案内いただき、東近江市産 天然菜たね油『菜ばかり』や、もみ殻を炭化した肥料の製造工程などを見学しました。体験メニュー「廃食油からバイオ燃料づくり」にもチャレンジ！自分たちで精製したBDF(バイオディーゼル燃料)を使ってカート試乗も体験し、地域の資源循環の取り組みを学び、エコ交通には自転車・公共交通の利用促進だけでなく、再生燃料の活用等も含めた環境負荷低減の取り組みを考える必要があることを再認識する機会となりました。

帰路は11kmのコースで、往路に比べると少し軽やかに走れました。愛知川駅より再び近江鉄道のサイクルトレインに乗り、ひこね芹川駅で下車。彦根駅まで最後の道のりを踏ん張って走り、レンタサイクルを返却。近江鉄道本社にて意見交換会を行ってから解散しました。

自分の自転車を持ち込んで、ガチャコンでのびらり旅、とても新鮮な感じでした。皆さんもぜひ体験してみてください。

(レポーター:牛谷)

